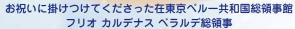


やまと世界科理の屋台校 2013年10月27日 午前10時30分~午後3時 大和駅東側プロムナード

台風一過の抜けるような青空のもと、 今年もやまと世界料理の屋台村を開催しました。 4回目の開催となる今回は、過去最高となる6,000人のお客様に来場いただき、 プロムナードは一日、美味しい匂いが漂い、 楽しい音楽そしてにぎやかな笑い声に包まれました。













当日の様子は、大和市のホームページで 動画でも公開されています。

http://www.city.yamato.lg.jp/web/kokusai/yataimura2013.html

#### Contents

外国につながる子どもたちと「がっこう・にほんご・べんきょう」	2~3
Hello everybody! 外国人市民インタビュー ····································	4
行ってみたいなあの店この店『タイレストラン ウサー』	
市内国際関係団体の活動案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
<b>안녕! 광명!</b> アンニョン! クァンミョン!	
では、	
人而别为人人人们们率除到,协方力,为人人的人们,	



# 外国につながる子どもたちと 「がっこう・にほんご・べんきょう」

「つめきり」ってご存知ですか?もちろん知っていますよね。

でも、爪は切るものじゃなくて削るものだ、という国があります。当然その国の売れ筋は「つめきり」ではなく「爪やすり」。「爪を切る」だなんて「指まで切っちゃったらどうしよう」と、初めて赤ちゃんの爪を切るお父さんのような心境かもしれません。削りなれた爪、外国で暮らすようになったからと言って、大人は突然切るようになったりはしません。つめきりも爪やすりも、簡単に壊れたりしないものですし。

何度繰り返しても「つめきり」という言葉だけ忘れてしまう小学生の女の子、家で「つめきり」をみたことも触ったこともなければ、覚えられないのは当然なのかもしれません。外国人を両親に持っていても日本生まれの子どもたちは、日本人の子どもたちと同じだけの日本語力があるように見えますが、実はこんな小さな落とし穴や引っ掛かりが無数にあって、落っこちちゃったりつまずいちゃったりしているうちに、気がついたら周りの子より、遅れをとってしまっていることが少なくありません。

何 を聞いても「大丈夫、大丈夫」と答える中学2年生の男の子。いやいや絶対大丈夫じゃないでしょう。まぁ、反抗期だったら、答えてくれるだけかわいいものかも!?なんとなくコミュニケーションできているような気になります。でも、それが10歳を超えて来日した外国につながる子どもだったら、それはたぶん、日本語で答えられないから。「クラスメイトに、自分が日本語が分らないなんて知られたくないし」「自分だけ特別に日本語を教えてもらうなんて目立ちすぎるし」「バカだって思われるのも、さっぱりわからない勉強を続けなきゃいけないのも、もうやだし」なんて気持ちはとても、「恥ずかしいから」じゃなくて、「うまく日本語で表現できないから」、口に出しません。「大丈夫」と答えれば、やり過ごせることも知っています。

前はクラスで1番だったのに、日本に来たら、テストで悪い点数を取っちゃった。算数は得意のはずなのに、文章題になると意味が解らなくなっちゃう。漢字ってなんだよ、何でこんなにたくさんあるんだよ。周りの友だちとけんかするとすぐ『国に帰れ!』とか言われるし…。なんて思っている小学生の男の子。「本当は日本に来たくなかった!」すっかり自信を無くして、お父さん、お母さんをちょっぴり恨みたくなっちゃう。これではなかなか気持ちが勉強にむかいません。

今、大和市の小中学校には、こんな子どもたちがたくさん通っています。









市内公立学校数:小学校 19 校(うち国際学級のある学校 12 校)

中学校9校(うち国際学級のある学校7校)

外国籍の児童生徒の数:小学校227人 中学校120人

日本語指導の必要な児童生徒の数:小学校 229 人(外国籍 165 人、日本国籍 64 人)

中学校 79 人(外国籍 69 人、日本国籍 10 人)

外国籍を持つ児童生徒の 2/3 は、学校での日本語指導が必要です。 日本国籍を持っている 74 人の児童生徒も、学校での日本語指導が必要です。

大和市では、子どもたちの母語で学習の内容を説明したり、通訳として子どもや親と学校とのコミュニケーションをスムーズにしたりしてくれる18人\*の『外国人児童生徒教育相談員』と、日本語の専門家である7名の『日本語指導員』を各小中学校に派遣して、外国につながる子どもたちがほかの子どもたちと同じように、本来学校で学ばなければならない、算数や理科、社会といった「教科」の勉強が理解できるようになるように支援しています。

けれど、子どもたちが、どの程度日本語がわかるのかを判断するのは、現場の先生たちそれぞれに任されていて客観的な基準はありません。それに、予算や人数の都合から、日本語指導が必要だと判断された子どもたちすべてに、必要なだけの支援が行われているわけでもありません。日本語の勉強をつづけながら同時に教科の学習を進めていくことも、子どもたちにとって簡単なことではなく、支援をすればするほど、より必要な支援が見えてくることがあります。

※大和市教育委員会には、2013年12月1日現在 カンボジア語・ベトナム語・ラオス語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国朝鮮語・タガログ語・タイ語の9言語の教育相談員が在籍しています。

#### 

国際化協会では、以前より、保護者や面談などの場面で学校に派遣した通訳・翻訳ボランティアから、外国につながる子どもたちが学校で、なかなか勉強についていけていないようだ、という声を耳にしていました。

現在は、日本語や教科の学習を支援するボランティアの登録制度を作り、ボランティアの力を借りながら、外国につながる子どもたちを支える事業を行っています。

## 日本語・学習支援ボランティアの派遣

市内の小中学校からの依頼に応じてボランティアを 学校に派遣し、外国につながる小中学生の日本語及び教 科学習の支援を行います。

#### ◆過去の派遣実績

年 度	学校数	活動時間	支援者数/(実数)	生徒数/(実数)
2010	13	1478.5	61	42
2011	14	1197	42	39
2012	18	1467	51	50

#### 【 外国につながる子どもたちへの補習クラスの開催

●**夏休み子ども教室(日本語・学習支援ボランティアの活動事業)** 夏休みのきめられた期間に生徒を募集し、それぞれの学力に合わせた個別指導を行います。

#### ●にほんごひろば

就学前の子どもたちに、遊びを通して学校生活で必要になる集団 生活への心構えと簡単な日本語を指導します。

#### ●特別支援教室(日本語·学習支援ボランティアの活動事業)

学校での学習だけでは不安のある子どもたちを、保護者の依頼 により国際化協会の事務所などで支援します。

ボランティアと学校・保護者間のコーディネート、カリキュラム作り、教材作りは、専門性を持った多文化共生ソーシャルワーカーが 行っています。また、隔年で養成講座を開講して、新しいボランティアの発掘に努めています。

### 日本語・学習支援ポランティア養成講座受講生募集!

国際化協会では、3月から、外国につながる子どもたちへの日本語と教科学習の支援ができるボランティアを養成する講座(全18回)を開講します。

2014年度以降、小中学校の中での日本語指導が正式な授業として扱われるようになるなど、今まで以上に体系的な日本語指導が学校の中でできるようになります。今後ますます日本語指導のできるボランティアの需要は高まっていくと考えられますが、現在でも、ボランティアが不足しているために、ボランティアの派遣をおことわりせざるを得ない状況が続いています。

活動にご興味をお持ちの方は、ぜひこの機会に養成講座の受講をご検討ください。

日 時:2014年3月7日から7月18日 毎週金曜日 午後4時30分から6時30分(3月21日、5月2日は休講)

場 所:大和市林間学習センター会議室

対 象: 講座終了後、当協会の「日本語・学習支援ボランティア登録制度」に登録して、大和市内の小中学校や国際化協会事務所等で の学習支援活動に協力できる方

講師:大和市教育委員会日本語指導員ほか

**定** 員:30名 **受講料:**無料

内 容: ●大和市の国際化の歩みと外国人市民の現状を理解する

❷市内小中学校に在籍する外国人児童生徒の実態と抱えている課題を理解する

₃支援を行う際の留意点を知る

4初級日本語指導に関する基礎知識の習得

⑤教科指導の工夫の仕方を学ぶ

6市内小学校国際教室の授業見学および担当教諭との懇談(講座時間外に設定)

●現在活動している学習支援ボランティアから活動の様子等体験談を聞く など



養 成講座受講後から日本語学習支援を始めて、3年以上になります。学年・在日期間・出身国等、様々なタイプの子ども達と出会う中で、私自身、学んだり気付かされたりすることも多く、良い経験をさせていただいていると感じています。

退職近くからそれまでやりたかったことを順次やりました。それらでも楽しく人生充実していますが、今後の残された時間で、何か社会に役立つことをするにはどうするかと考えて居た時、国際ボランティアを考えました。サラリーマンの頃アジアの情勢分析を仕事とすることがあり、日本で普通に生活していると分からないアジアの事が分かる様になりました。相手国の人と日本人の相互理解ができてアジアの中でどう助けあえるかが明確になると思います。私はボランティアを通じてその相互理解の一助になりたいと思います。

ボランティアを始めて、5、6年経ちます。これまで、小学校3校、中学校2校で活動しました。活動を始めて間もないころに支援をした当時小3の生徒とは、途中支援が中断したこともありましたが、再開して現在も続いています。学校や本人の都合もあって、なかなか思うようにならないところが、ストレスになることもありますが、長く関わっていくことが大切のように感じています。生徒が頑張って良くできた時には、来日間もない生徒であれば、尚更、ほめて伸ばしてあげたいと思います。そういうこともボランティアとして大切なことのように思っています。

3 年間小学校で学習支援しました。高学年は真面目に勉強していますが、低学年の場合は授業に飽きてしまい、ふざけたり、物をわざと隠したり、落としたりして時間を稼ごうとするときもあります。最初は、叱ろうと思い、そうしたことも一回だけありましたが、本人からすれば、なぜボランティアが教えに来るかといったことが分からないのではないかと思います。(無理もないことと思います。)ボランティアと勉強するのが楽しいと思ってもらえるように工夫をしなければいけないと感じています。



# 外国人市民 インタビュー

## 山田 ジョセリンさん 第9回やまと国際交流フェスティバル実行委員



ジョセリンさんのことを教えてくだ さい。

フィリピンの首都マニラの出身です。 1994年に日本に来て、今年で19年目になります。最初の3年間は熊本県に住んでいましたが、1997年からは、桜ヶ丘、鶴間、南林間とずっと大和に住んでいます。

9人兄弟の大家族に囲まれて育ちました。ちょうど真ん中、5番目なんで

すが、お姉ちゃんの様だと言われていて、今でも、上の兄たちは 私の言うことだけはよく聞きます。お母さんは、お惣菜の屋台 をやっていました。兄弟はみんな自分の遊びに夢中だったけど、 私は屋台を手伝うのが好きで、いつもお母さんのそばで、料理 を手伝ったり、お客さんの相手をしたりしているような子どもで した。

#### フィリピン台風の支援に奔走されていますね。

南林間にある大和カトリック教会の活動として、台風の被害を受けたフィリピンを支援するために、募金と支援物資を集めています\*\*。新聞などで呼びかけてもらって、本当にたくさんの支援物資が寄せられました。先日、それを大きな段ボール12箱に詰めて、被災地へ送りました。

駅前で募金を集めるために、警察に許可を貰いに行ったり、 慣れないこともたくさんあります。それでも、他の国ではない、 フィリピンのことなので、できることはしようと思っています。 ありがたいことに多くの日本人の友人も協力してくれています。

大和カトリック教会は、国際的な教会で、いろいろな国の人たちが通ってきています。ペルー、ベトナム、スリランカなどいろいろな国の人たちのコミュニティがあって、私は、フィリピンコミュニティのコミュニティリーダーを務めています。コミュニティリーダーは教会に通ってきているフィリピンの人たちの投票で決められるんですよ。だから、今の一番大きな仕事はボランティアです。教会の日曜学校で一年生の子どもたちを教えたり、東日本大震災の被災地であるいわき市のカトリック教会へ年に2回、励ましに行ったりしています。11月17日に行ったときは、台風の被害が起きた後だったので、多くのいわきの方が心配してくれ、祈ってくれました。

その他には、子どもたちに英語を教えたり、アルバイトとして、 教会の敷地の中にある幼稚園の掃除や、先生たちの手伝いを したりすることもあります。 フィリピンにいた時には、たまにしか教会に通っていませんでしたが、日本に来てからは、欠かさずに行っています。 両親や兄弟から離れて日本で暮らすようになり、助けてくれる人が周りにいなかったからです。いろいろあって辛い時、お祈りすると、心がらくになります。

子どもの頃は、あまり裕福な家ではなかったので、勉強を続けることができませんでしたが、家々を回って困っている人を助けるソーシャルワーカーになりたいと思っていました。

今はそれに近いことができています。信頼してくれる仲間がいるので、頑張っています。

#### 今年もフェスティバルの実行委員もやってくださるんですよね。

去年初めて参加したやまと国際交流フェスティバルの実行委員は、本当に楽しかった。紹介したフィリピンの白玉だんご「パリタウ」と寒天入りの「グラマンジュース」をみんながおいしいって言って興味を持ってくれました。自分の国のことを紹介できてうれしかったです。お母さんの影響で、料理が大好きなんです。今年は、フィリピンのサババナナとジャックフルーツをいれたバナナ春巻きや、野菜の春巻き「ルンピア」なんかはどうですか?

娘の芙美香も今年も手伝います。タガログ語を話し、フィリピンの文化も大切にしてくれている娘なので、一緒に参加できるのもうれしいです。

※大和カトリック教会では、現在は募金のみ受け付けています。





# 2013年フィリピン台風被災地支援

国際化協会では、フィリピン台風で被災された方の支援のために事務所の窓口に募金箱を設置しています。また、今後実施する事業を通じて、フィリピン被災地への支援を行います。今回の台風で被災されたフィリピンの皆さんに支援の手が届くことを願っています。



# TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券 ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714 E-mail travel-support.h@gol.com

# '行ってみたいな' あの店

# タイレストラン ウサー

今年も一年お疲れ様でした! という訳で、今回はエスニック男子会 忘年会のお作法。





インテリアも男子会向き

ティラピア姿揚げ(1,890円)

#### まずは本年の労をねぎらって「カンパイ!」

えーっと、なぜ設定が男子会なのか というと、厚いタオルの手作りおしぼり が出てくるから。そしてタイの屋台にカ クテルが似合わないように、このお店も ビールとハイボールで勝負だから。

おしぼりで顔ふきながら、さっそく 注文。生ビールもありますが、ここはや はりタイの国産ビール「シンハビール」 で乾杯とまいりましょう。ハンドルキー パーには、ノンアルコールビールを。

Beer ALCOHOL FREE O.OOX ¥690

ここから先は手酌でどうぞ。

#### さておつまみ。美味しいものを頂けば、今年の楽しかった 思い出がよみがえる!

ここで激しくおすすめしたい のは、ガイヤーン。トリの丸焼き です。テンション上がってきたで しょう?丸焼き。ちゃんとカットさ れて出てくるので、新入社員も 「どう切り分けようか」なんて心 配する必要はありません。

もう一つ、エビのニンニク揚 げ、クントゥガディアムなんてど うですか?女子がいたらなかな か手が出しにくいがっつりニン ニクメニューも、ここは男子会。 エビのニン=ク揚げ(1,050円)



来る2014年に備えて元気を蓄えましょう。

あとは、野菜もちゃんと取らないと。ソムタム(青パパイヤサラ ダ)にヤムウンセン(春雨サラダ)なんて、タイ料理定番のサラ ダももちろんありますが、ちょっと珍しいところで、揚げた空芯菜 の入ったサラダ、ヤムパックプンクロープを選んでみましょう。

ちなみに、パクチー(香菜)が苦 手な方、いらっしゃいます?そうい うことは先に言っておいてくださ いね。ちゃんとパクチー抜きで用 意してくれますので。

もう一品いけそうなら、ティラ ピアというお魚のまるごと醤油蒸

しや、甘酸っぱいソースのかかった姿揚げを奮発すると、忘年会 感が増すこと請け合いです。



実はここまで辛さ控えめ(当社比)を選んできたのは、最後に ウマ辛トムヤムスープで、一気に汗と涙を流すため。ベーシック にいきたいなら海老入りのトムヤムクンを、あくまでチャレンジ 精神を忘れない方々は鶏の足が入ったトムヤムティンガイを、



ツラかったあんなことやこんな 思い出と一緒にぐっと飲み干し てください。涙を汗でごまかし 一緒に流せば、トムヤムスープ の美味しさと、来年への期待だ けがいつまでも心に残っている ハズです!



締めがないと気がすまない、とい うならオムそば、卵で包まれた パッタイ(タイの焼きそば)を最 後にどうぞ。



所:神奈川県大和市西鶴間 1-12-18芳仙ビル2F

小田急江ノ島線 鶴間駅徒歩2分

二条通り商店街内

営業時間:月~木 17:00~翌3:00

金·土·日 17:00~翌5:00 (しばらくは、年中無休で営業)

電話番号:046-211-0589

080-5645-9888

オーナーのウェッチャサート パーパットさんが、今年の 6月に二条通りにオープンしたタイ料理屋さんです。子育 て中の奥さんに代わり、義理の娘であるラートリーカッ タリャーさんと二人で切り盛りしています。パーパットさん は、タイではホテルのレストランで12年、そのあとオース トラリアのホテルでも腕を振るっていたことがあり、実は、 イタリアンも得意なんだとか。なぜだかメニューには、カル ボナーラも。もちろん男性だけじゃなく、女性のお客さま も居心地良く楽しめるお店です。



# 市内国際関係団体の活動案内

## シンポジウム〜地域の多文化共生と日本語支援〜

大和市を始めとする県央地域と隣接する横浜市泉区には多くの外国人の方々が住んでおり、またボランティアの日本語教室等もあります。日本人も外国人も住みやすい地域、多文化共生等について考えるシンポジウムを開催します。

日 時:2014年1月18日(土曜日) 午後1時30分~5時

場 所:大和市立渋谷学習センター304講習室

内 容:第1部:講演「多文化共生の地域づくり」 山脇 啓造氏(明治大学国際日本学部教授)

「地域の日本語教育」~つながるにほんご~について 坂内 泰子氏(神奈川県立国際言語文化アカデミア教授)

第2部:パネルディスカッション「外国人も日本人も暮らしやすい地域に向けて」

参加費:無料

# 日本語初級文法短期集中講座

日 時:2014年1月21日(火曜日)~2月26日(水曜日)

毎週火曜日~金曜日

午前9時~11時(全20回)

場 所:大和市生涯学習センター

対 象:簡単な会話が出来て、ひらがな、カタカナが読め

て書ける人

定 員: 先着15名

費 用:13,000円(教材費は別)

締 切:2014年1月17日(金曜日)

主催・申し込み:NPO法人かながわ

難民定住援助協会

地域日本語支援プロジェクト

## ラオス料理教室

難民定住援助協会では、年に1度、インドシナ3国につながる講師の方に、母国の料理を教えて頂き、その国の文化を知ることで、難民定住者への理解を深めて頂く目的で、料理教室を開催しています。

日 時:2014年3月2日(日曜日) 午前10時~午後2時

場 所:大和市立渋谷小学校調理室(予定) メニュー:鶏飯、春雨サラダ、かぼちゃのタピオカ

講 師:ピンマチャン・ビルンさん

定 員:20名

持ち物:エプロン、布巾、三角巾

費 用:2,000円

締 切:2014年2月19日(水曜日)



いずれもイベントも、申し込みはNPO法人かながわ難民定住援助協会、電話・FAX:046(268)2655 Email:nanmin@enjokyokai.orgまでご連絡ください。

# やまと国際交流パーティー2014

昨年好評をいただいた「やまと国際交流パーティー」を、今回また2014年2月2日(日曜日)に、勤労福祉会館3階ホールで開催します。 開会は午後1時30分からです(開場午後1時)。

「世界各国のお料理やスナックを食べながら、国際色豊かなステージを見て、そしてみんなで踊っちゃおう!」というパーティーですので、ご家族連れで、お友達と、もちろん1人だって大丈夫、ぜひご参加ください。みんなでワイワイ楽しんで、国際交流しましょう!!

今回はまるでダンスのようなブラジルの格闘技「カポエィラ」も出演します。「行って、見て、参加できる」 "IFCカラー" のパーティーをお楽しみください。

現在チケット好評販売中です。先着100名までとなりますので、早めにお申し込みください。

お申し込み、問い合わせ先: やまと国際フレンドクラブ事務局 info@ifc-yamato.com または、080-5451-0432

(留守番電話の場合はお名前と連絡先をお伝えください。後ほどこちらから掛け直します)

大人(中学生以上): 前売り1,000円、当日1,200円(前売りで売り切れの場合、当日券はありません)

子ども(3才以上~小学生): 前売り500円、当日600円

# 大和地区日中友好協会「春節の集い」

日 時:2014年2月9日(日曜日) 午前11時~午後2時

場 所:画廊喫茶「オルセー」(大和市鶴間2-3-10 小田急江ノ島線鶴間駅 徒歩3分)

内 容:軽食を楽しみながら、中国のお正月「春節」の訪れを喜びます。スピーチの披露もあります。

申 込:大和地区日中友好協会 046-269-7912(饗庭さん) 046-274-9125(遠藤さん) 046-240-6687(石井さん)

# 안녕!광명! アンニョン! ケァンミョン! 🕡

〜大和市の友好都市である大韓民国光明市の情報 や、市民との交流の様子をお届けします。

#### ~7月に大和市を訪問してくれた光明市の青少年が、感想を送ってくれました。

みんな、何と言っても日本の「家」に泊まったのは初めてのこと。韓国ではユニットバスが主流な様で、個室になっている日本のトイレに驚いたり、夕方を過ぎると途端に静かになる住宅街の様子に、「みんなどこに行っているんだろう?」と不思議に思ったりしていたようです。

同じ学生でも、国が違うと学校の様子も異なります。夏休み中でも、部活のために学校に出かける中学生に驚いたり(韓国では勉強が優先され、部活動はそれほど盛んではないみたい。)、日本の学生と交流会を行った新しく広い光丘中学校の施設に目を見張ったりしたことも、学生らしい言葉でつづられていました。



みんなのお気に入りは「阿波踊り」。市内中の人が楽しんでいるんじゃないか、というような盛り上がりが、そして、ただそこに遊びに来ているだけの自分たちまで、祭りの一員として参加できたことが、とても感動的な出来事だったようです。

地震、特に原発事故による影響を心配して、行こうかどうしようか迷った、と書く子どもたち。その不安を吹き飛ばし、「本当に来てよかった!」と思わせてくれたのは、やはり温かく迎え入れてくれたホームステイファミリー。言葉がほとんど通じ合わなくても、生活を身近に感じたことで「単なる旅行とは全然ちがう」色々な思い出を持ち帰った様です。

来年度は、大和から青少年を光明市に送り出します。ご興味のある方はぜひご応募ください。詳細は、来年4月15日号の広報やまとでご案内します。

# NPO法人 教育支援グループ「Ed. ベンチャー」 教育講演会『語るべき未来』を探る 原発事故が意味するものと「里」の思想

文明の象徴であった原発の事故は、社会のあり方を見直すことを私たちに迫っています。格差に目をつぶりつつ、これからも経済発展を最優先とするのか、それとも、自然との持続可能な生活の中に『豊かさ』を見いだすのか・・・。 どちらにせよ、私たちは答えを出さなければなりません。 「里の哲学者」 をお招きし、子どもたちに、どのような『未来』 を語っていくべきなのかを考えてみたいと思います。

講 師:内山 節 (立教大学大学院教授 哲学者)

1950年東京生まれ。哲学者。1970年代から、群馬県上野村と東京の二重生活を始める。著書に『「里」という思想』『文明の 炎禍』 (以上新潮社) 『戦争という仕事』 (信濃毎日新聞社) 『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』 (講談社)など多数

日 時:2014年2月15日(土曜日) 午後1時30分~4時30分

場 所:渋谷学習センター201多目的ホール

参加費:一般1,000円、学生500円、高校生以下無料

主催・問合せ: NPO法人教育支援グループEd.ベンチャー tel/fax 046-272-8980 E-mail toiawase@edventure.jp

# AJAPE よみきかせの会

バイリンガルの先生による日本語とスペイン語の絵本のよみきかせ。読んだ本の思い出を残せる、読書カードづくりもします。 1月18日はお楽しみ会をします。おともだち、かぞくも一緒に参加できます。みなさんの参加をお待ちしています。

日 時:2014年1月18日、3月15日(いずれも土曜日) 午前10時30分~正午

場 所: AJAPE大和教室 (大和市大和南1-13-9 飯間ハイツ1階)

主催・問合せ: AJAPE (NPO法人日本ペルー共生協会) 電話 046-264-7070

# フェアトレード製品展示会~インドの手仕事~

チーム ピース チャレンジャーは、インド、ネパールの貧困村の女性が作製した製品を展示、販売することで生活や学校給食の支援活動を行っています。また、年に2回、ボランティアスタディツアーを開催し、日本から洋裁、編み物の先生をお連れして指導にあたっています。

次回は12月にツアーを開催します。今回は、インド、西ベンガル州のカタ刺繍、カシミール地域のカシミール刺繍、カディコットン(手紡ぎ、手織り綿製品)、など、インドのガヤ地区にオープンした職業訓練所の女性たちが作製した手作り品を展示、販売します。

**日 時**:2014年1月29日(水曜日) 午前10時~午後4時

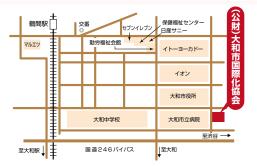
場 所:大和勤労福祉会館中会議室

**主催・問合せ:**チーム ピース チャレンジャー http://peace3hse.com/ 080-3529-5135(蔵田)

# 公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会 事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会 〒242-0018 大和市深見西8-6-12 大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側) Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127 Email:pal@yamato-kokusai.or.jp http://www.yamato-kokusai.or.jp 受付時間 月曜~金曜 第1.3土曜 午前8時30分-午後5時



#### マークの見方

…日時 …場所

₩ …定員 半 …費用 対象…対象 八本 …内容

**──** …講師

一込。…お申し込み方法

#### ボランティア交流会 学習支援セミナー 「書く力を伸ばすための工夫の仕方」とボランティア座談会の開催

外国につながる子どもたちの中には、日本での生活経験や学習経験 の少なさ、また日本語の語彙力不足などから、文章の内容を理解した り、自分の考えや気持ちを書いて表現することを苦手とする子どもが 大勢います。書く意欲を持たせ、子どもたちの書く力を伸ばしていく ためには、どのような方法が有効なのか、支援者ができるサポートを 考えてみたいと思います。当交流会は、大和市国際化協会日本語・学 習支援ボランティアを主な対象としていますが、ご興味のある方は是 非お申し込みの上、ご参加ください。

2014年3月22日(土曜日) 午後1時開始 4時30分終了予定

大和市役所分庁舎3階会議室

鎌倉市立小学校スクールアシスタント 細野尚子先生

○ 当日は、2部構成を予定しています。第1部:学習支援セミナ 一「書く力を伸ばすための工夫の仕方」 第2部:日頃の活動 を通して感じたことや問題点などを出し合い、意見交換を行う 座談会。

30名

□ 1月20日(月曜日)から先着順に受付けます。電話、FAX、 Email、直接窓口でお申し込みください。

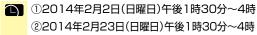
#### 国際理解講座「もっと知りたいチベット」

チベットは古くから独自の文化を持つ地域で、現在はその統治をめ ぐって中国政府とチベット亡命政府との対立が続いています。第1回 講座では、チベット医の小川康氏がチベットの人たちのくらしぶりを語 るほか、留学生のヴムバジャ氏を交え、日本文学からみるチベット文学 について紹介します。第2回講座では、チベット出身のペマ・ギャルポ 氏がチベットの現状、チベット人からみた日本社会などを語ります。

①「チベット医学と日本の原風景

~川端康成と村上春樹からみるチベット~」

②「チベット人と日本社会 ~50 years in Japan~」



📶 ①、②ともに生涯学習センター207

どなたでも

①小川康氏(チベット医療・薬草研修センター主宰) ヴムバジャ氏(大学院生)

②ペマ・ギャルポ氏(桐蔭横浜大学教授)

1回300円(賛助会員は無料)

電話またはFax、Email、協会窓口で12月20日 (金曜日)から先着順に受け付けます。



ヴムバジャ氏



ペマ・ギャルポ氏

#### 第9回やまと国際交流フェスティバル

2014年3月16日(日曜日) 午前10時30分~午後3時まで(少雨決行・荒天の場合は中止します。)

→ 大和駅東側プロムナード

☆ ステージでの民族音楽・民族舞踊の披露、外国文化を体験できるワークショップ、外国料理の屋台、 国際関連団体によるフリーマーケット、クイズラリー など







## 当日ボランティアも 募集しています。

このイベントの当日の運営ボラ ンティアを募集しています。 ステージ出演者の案内や、ワー クショップでのお客様への対応 等を実行委員と一緒にしてい ただきます。時間は相談に応じ ます。ボランティアには、当日会 場で使用できる食券を配布し ます。ご興味のある方は、ぜひ お申し込みください。





# 大和式礼

http://www.sikirei.com/

大和斎場でのご葬儀もご用命ください。

# 家族想いの大利式えし

ご自宅でのご安置にお困りの方、当館霊安室でお預かりできます。

 $\overline{00} 0120 - 143 - 011$  fig 24 g  $\overline{24}$  g  $\overline{24}$ 

大和市大和東 2-9-13 相鉄線・小田急江ノ島線「大和」駅北口より徒歩約6分